

皆さま、こんにちは！

2025年7月の参議院選挙で全国を回らせていただくとともに、内閣府大臣政務官としての公務と通常の政務で相変わらず大忙しの毎日です。

01 | 政務官のお仕事

公務 / 観察

官邸での会議や国の検討会など、様々な会議やイベントに出席をさせていただいている。先日は、国際保健の担当で、横浜で開催されたTICAD 9（日本アフリカ会議）のサイドイベントに参加。国際保健への投資を官民協働で増やしていくためには何をすべきかを議論しました。

また、9月23日は、初めての手話の日。今年の通常国会で手話に関する法律が成立しましたので、同日のイベントに参加し、手話でご挨拶をさせていただきました。今年の7月に佐賀県で医療的ケア児の施設を訪問し、コミュニケーションツールとしての手話の重要性を痛感していましたので、今後も手話関連政策の充実に努めて参ります。

それ以外にも、医療的ケア児、妊産婦のメンタルヘルス支援、新生児訪問などより充実が求められる事業について、看護や医療の関係者と役所の担当者の意見交換の場を設けるなど、より良い政策の実現に向けて地道な活動を続けています。

02 | 公務視察

公務 / 観察

7月には、孤独・孤立対策を担当する三原大臣と豊中市へ。退職後の居場所づくりの一環として、「豊中あぐり」の農園や地域共生ホーム「和居輪居」を訪問し、車座対話を行いました。ひきこもりの課題に取組む「びーの×マルシェ」なども視察し、意見交換。地域における繋がりのつくり方や受援力の強化、担い手の確保など、政策立案に向けて、学びの多い視察でした。

9月には、科学技術・イノベーションの視察で、つくばにある国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）へ。

超伝導量子コンピュータを見せていただいた後、最後はセルフケア実装研究センターへ。ロボット技術を導入した遠隔医療技術の研究では、超音波検査を行うロボットを開発中。ECMOの改良研究（血栓への対策）も継続的に行われています。

閉会中は、全国をまわり、施設訪問をさせていただいている。担務である子どもにかかる医療現場を始め、人口減少が進む地域の医療や慢性期の現場、訪問看護や教育機関など様々な場を訪問し、皆さまから率直なご意見をうかがっています。東京に戻り、厚生労働省を始めとした各省庁や団体と皆さまの声を共有し、課題解決に向けて話し合いを進めています。



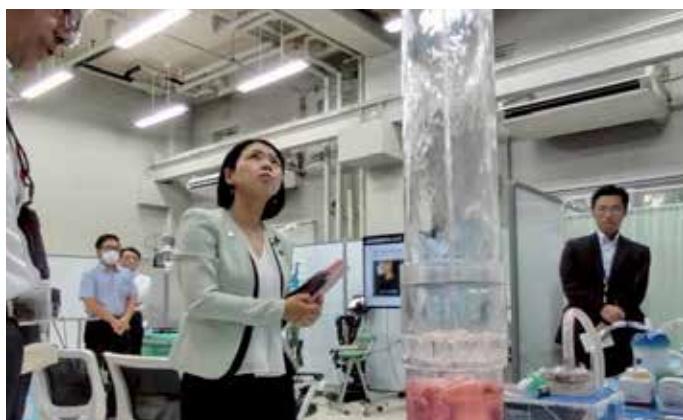
TICAD サイドイベント



手話の日イベント



豊中あぐり



産業技術総合研究所（産総研）





先日は、静岡県で聖隸浜松病院を訪問させていただきました。聖隸浜松病院には、「動く NICU」と呼ばれる新生児専用救急車があります。高度な医療を提供しながら赤ちゃんを搬送するための特別な車両ですが、長年の運用により老朽化が進み、未来の命を守るためにには、最新技術を搭載した新しい救急車の購入が急務です。

「レディーフォー」でクラウドファンディング中ですので、これからも赤ちゃんとその家族の命を守り続けるために皆さまのお力添えをよろしくお願い致します。

03 | 動く「NICU」

施設訪問



→ READYFOR のサイトへ



浜松がご地元の城内国務大臣と

この夏、全国の皆さんと石田まさひろ議員の応援をしました。ありがとうございました！

引き続き、看護・医療の未来のために石田議員と共に政策を前に進めて参ります。 *写真は一部抜粋しております



【参議院】

環境委員会 / 委員

こども・子育て・若者活躍に関する特別委員会 / 委員

【自民党】

厚生労働部会看護問題小委員会 / 事務局次長

こども・子育て DXPT/ 前事務局長

【議員連盟】

自民党看護問題対策議員連盟 / 事務局長

終末期における本人意思の尊重を考える議員連盟 / 事務局次長

環境大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官

友納りお とものうりお

参議院議員・看護師・弁護士

発行：自由民主党東京都参議院比例区第六十支部

2025年10月23日



オフィシャルサイト Official site
<https://tomonoh.net/>



各 SNS からも発信しております